

平成 28 年(2016 年)12 月 15 日

報道機関各社 様

|   |
|---|
| 担当：札幌市消費生活課調査指導係<br>TEL 728-2111 FAX 728-2112 |
|---|

**平成 28 年度 年末年始における生活関連商品の需給動向・価格見通しについて**

札幌市では、生活に密着した食品や石油製品等の生活関連商品の価格の動向を的確に把握し、市民に情報提供するため、関係業界団体や事業者の協力を得て、年末年始における生活関連商品の需給動向及び価格見通しに関する調査を行いましたので、その結果についてお知らせします。

## 記

## 1 協力を得た業界団体及び事業者

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| (1) 丸果札幌青果(株)   | (5) (一社)北海道 LP ガス協会石狩支部 |
| (2) カネシメ高橋水産(株) | (6) ホクレン農業協同組合連合会       |
| (3) 札幌食肉卸業協会    | (7) 北海道製麺協同組合           |
| (4) 札幌地方石油業協同組合 | (8) 日糧製パン(株)            |

## 2 調査時期

平成 28 年 12 月上旬

## 3 概要

## (1) 青果物

調査品目の 18 品目中、前年並みは 2 品目、他の 16 品目はやや高値・高値であった。台風や全国的な天候不順により、高値傾向の見込み。

## (2) 水産物

調査品目の 14 品目中、やや安値は 2 品目、前年並みは 4 品目、やや高値・高値は 8 品目であった。

温暖化による海水温の上昇や台風、その他さまざまな影響により数年来の水揚げ減少品目等がやや高値・高値となっている。

## (3) 畜産物

調査品目の 7 品目中、安値・やや安値は 2 品目、前年並みは 4 品目、やや高値は 1 品目であった。

国産牛肉は頭数不足により引き続き高値傾向で推移。輸入鶏肉は安値見通し。国産鶏肉は、相場は上昇傾向だが、昨年比ではやや安値。

## (4) その他食料品

鶏卵、ラーメン、小麦粉はやや安値、もち米、パンは前年並み、生そば、そば粉はやや高値、黒豆は高値となる見込み。

## (5) 石油製品

プロパンガスは昨年並み、灯油、レギュラーガソリン、軽油については高値と見込むが、OPEC（石油輸出国機構）総会での減産合意による今後の原油価格の動きや為替変動等の影響により先読みは難しい。供給量に関しては不足の懸念はない。

平成 28 年度 年末年始における生活関連商品の価格見通し 一覧表

|            | 安値   | やや安値              | 前年並み                              | やや高値   | 高値                                |
|------------|------|-------------------|-----------------------------------|--|-----------------------------------|
| 青果物        |      |                   | 長ねぎ<br>きゅうり                       | みかん<br>生しいたけ<br>にんじん<br>れんこん<br>みつば<br>だいこん<br>きゃべつ<br>はくさい<br>ほうれん草<br>たまねぎ<br>レタス<br>さつまいも | ごぼう<br>里いも<br>たけのこ (缶詰)<br>ばれいしょ  |
| 水産物        |      | 赤えび<br>たこ         | 味付数の子<br>飯寿司<br>スモークサーモン<br>板かまぼこ | まぐろ<br>はまち<br>こんぶ  | 新巻さけ<br>いくら<br>いか<br>ほたて<br>たらばがに |
| 畜産物        | 輸入鶏肉 | 国産鶏肉              | 輸入牛肉<br>国産豚肉<br>輸入豚肉<br>ロースハム     | 国産牛肉   |                                   |
| その他<br>食料品 |      | 鶏卵<br>ラーメン<br>小麦粉 | もち米<br>パン                         | 生そば<br>そば粉   | 黒豆                                |
| 石 油<br>製 品 |      |                   | プロパンガス                            |  | 灯油<br>レギュラーガソリン<br>軽油             |

※ 価格見通しの用語基準

- 前年並み = 前年同期比±5%未満  
 やや安値・やや高値 = 前年同期比±5～15%未満  
 安値・高値 = 前年同期比±15%以上

平成28年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

| 品目     |       | 価格見通し | 需給動向  |
|--------|-------|-------|---|
| 青      | 長ねぎ   | 前年並み  | 群馬、埼玉産中心の入荷。作況は順調な見通し。前年並の入荷を予想する。  |
|        | きゅうり  |       | 宮崎産主力の入荷で作付は前年並み。ハウス物は促成タイプ主力の入荷。寒波の影響がなければ生育の大きな乱れはないと思われる。  |
| 果<br>物 | みつば   | やや高値  | 水耕みつばの道内産は上川地区主力の入荷。府県産は愛知産の入荷。<br>作付は前年並み。入荷量は前年並みを見込む。価格も前年並みの見通し。<br>軟白みつばは渡島地区主力の入荷。作付は減反。<br>入荷量は減少する見通し。価格は高値の見込み。  |
|        | みかん   |       | 和歌山産主力、その他佐賀・広島産の入荷。<br>・和歌山産：作況は前年並みであるが、昨年より小玉傾向が見込まれるため、入荷量は昨年を下回る見込み。年末の需要期に向かって数量は減少傾向が見込まれる。<br>・佐賀産：作況は前年並みの予想。早生種は11/19より販売となるが小玉寄りの傾向であり、入荷量はいくらか少なくなる見通し。<br>・広島産：天候の影響で浮き皮などが多く出る見込みで、正品率は低い見通し。入荷量は昨年より減ると思われる。 |
|        | 生しいたけ |       | 胆振、石狩、根室地区中心の入荷で、作付は前年よりやや増反。<br>寒さの影響により入荷不安定な状況が続いているが、前年並みの入荷見込み。<br>価格は野菜の高値により引き合いが強く、前年より高値の見通し。  |
|        | にんじん  |       | 千葉、熊本産中心の入荷。<br>千葉産は、台風や長雨の影響で一部若干の被害もあったものの、概ね順調な生育である。<br>熊本産は作況良好。   |
|        | れんこん  |       | 茨城県産主力の入荷で作付は前年並み。<br>台風の影響もあり、前年より不作の見通し。<br>価格は前年より高値の見込み。  |
|        | だいこん  |       | 千葉、神奈川産中心の入荷。<br>作付は前年並み。作況は今後の天候次第だが概ね順調。  |
|        | きゃべつ  |       | 道内産は上川地方中心の入荷。作付は1割程度減反。作況も良くなく長雨による被害があり、収量も2割程度減少の見通し。<br>また、10～11月の高単価によりかなりの前進出荷となり、貯蔵量は少ないと思われる。<br>府県産は愛知産の入荷。作付は前年比やや増反。   |

平成28年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

| 品目 |              | 価格見通し | 需給動向  |
|----|--------------|-------|---|
| 青  | はくさい         | やや高値  | 茨城産主力の入荷。<br>作付は前年並みも、小玉傾向。   |
|    | ほうれん草        |       | 群馬、埼玉産中心の入荷。作況は順調な見通し。前年並の入荷を予想する。  |
|    | たまねぎ         |       | 空知、石狩地区中心の入荷。前年並みの入荷を見込むが、品質格差が大きいと思われる。  |
|    | レタス          |       | 静岡、兵庫産中心の入荷。作付は前年並み。作況は今後の天候次第だが、定植は順調に行われた。  |
|    | さつまいも        |       | 茨城、徳島産主力の入荷。<br>茨城産：「紅あずま」「紅はるか」は前年並みの入荷予定。<br>徳島産：「金時」は前年並みの入荷予定。  |
| 果物 | ごぼう          | 高値    | 十勝、後志地区中心の入荷。各産地、天候不順の影響で入荷量が少ない。引合いも強く、高値の見込み。   |
|    | 里いも          |       | 千葉、宮崎、埼玉産中心の入荷。<br>宮崎産は雨の影響を受け収量減少の見通し。そのため高値の見込み。<br>千葉産は天候の影響を受け収量が減少しており、高値の見込み。<br>埼玉産は平年作だが、昨年に引き続き高値傾向。 |
|    | たけのこ<br>(缶詰) |       | 中国産主力の入荷。入荷量は前年並みの見通し。価格は高値の見込み。<br>国産は福岡産主力の入荷。入荷量は前年並みの見通し。価格は高値の見込み。                                       |
|    | ばれいしょ        |       | 後志、石狩地区中心の入荷。貯蔵品のために計画的な販売を組む。引合いも強いいため、昨年に比べると高値販売を予想する。   |

平成28年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

| 品目  |              | 価格見通し  | 需給動向  |
|-----|--------------|--|---|
| 水産物 | 赤えび          | やや安値   | 産地（アルゼンチン）豊漁により安値安定。                                |
|     | たこ           |  | 水揚げが不安定だが、冷凍煮タコの在庫が安定しているの<br>で、例年より安値で推移すると思われる。   |
|     | 味付数の子        | 前年並み   | 昨年と同様、大西洋物は前年並みの価格で、太平洋物は水揚<br>げ減による若干の高値の予想。       |
|     | 飯寿司          |  | 紅鮭、秋鮭、鰯、鰯、秋刀魚、鰯、鰯、いずれも原料不足で<br>原料単価が上がるも製品価格は据え置き。  |
|     | スモーク<br>サーモン |  | 養殖、アトランティックサーモン、トラウトサーモン搬入量<br>減により原料高も製品値上げは来年以降か。 |
|     | 板かまぼこ        |  | すり身原料価格安定し、製品価格も横ばい。                                |
| まぐろ | やや高値         | 生鮮マグロ、国内養殖本鮪、メキシコ養殖、ともに安定供<br>給。価格前年並み。<br>バチ鮪供給減だが、前年並み。<br>冷凍本鮪、冷凍バチ鮪、ともにやや高値。 |   |
| はまち |              | 今年は尾数が少ないため前年よりは高値。<br>特に愛媛の尾数が少ない。  |   |
| こんぶ |              | 全体的に不漁。特に羅臼、真昆布、がごめ昆布等は少なく、<br>高値になっている。   |   |

平成28年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

| 品目  |       | 価格見通し | 需給動向   |
|-----|-------|-------|--|
| 水産物 | 新巻さけ  | 高値    | 水揚げ不漁に伴い、各地のギフト向けの物量確保の動きも重なり、昨年の3～5割高で推移しており、非常に高値になっている。 |
|     | いくら   |       | 道内秋鮭の不漁により大幅な高値になっている。消費地の繰り越し在庫がない中でのスタートとなり、高値を形成。       |
|     | いか    |       | ここ数年の不漁続きで価格が高騰。かつてない高値で推移。                                |
|     | ほたて   |       | 天候不順（台風等）が続き、水揚げが不安定、今年だけでなく今後2年位高値が予想される。                 |
|     | たらばがに |       | アラスカ産は漁獲枠減枠のため価格が昨年より15～20%上がり、ロシア産も引き合いが強くなり昨年より5～10%高値。  |

平成28年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

| 品目                         |       | 価格見通し | 需給動向   |
|----------------------------|-------|-------|--|
| 畜<br><br><br><br><br><br>物 | 輸入鶏肉  | 安値    | 今年の相場動向は、国内在庫が多いため荷動きが悪く、昨年に比べて安値となっている。年末に向けての大きな相場変動はなく、しばらくは安値販売が継続されると予想。                              |
|                            | 国産鶏肉  | やや安値  | 昨年に比べると安値となっているが、秋の台風による全国各地の産地被害により、国産鶏肉が不足となり相場は上昇しており、昨年以下ではあるが年末に向けても相場の上昇が予想される。                      |
|                            | 輸入牛肉  | 前年並み  | 日本国内の相場はアメリカからの輸入量が増えた事で国内在庫は潤沢にあり、価格は昨年並みと予測されるが、来年以降中国がアメリカから輸入する動きがあることから、アメリカからの日本向けの価格が上昇する可能性が考えられる。 |
|                            | 国産豚肉  |       | 今年の相場動向は昨年並みに動いているが、年末にかけて需給状況はロース・肩ロース・バラは品薄となり、高くなることが予測されるが、価格については、ほぼ前年との価格は変わらないと予測される。               |
|                            | 輸入豚肉  |       | 今年の相場動向は昨年並みに動いている。輸入環境は良いが、バラ、肩ロースなどパーツによっては輸入量が少なく品薄になることも予想される。   |
|                            | ロースハム |       | 原料価格は昨年並みに推移している。昨年は、年末にWHOの一部報道等により販売不振だったが、今年は例年並みの数量になる見込み。   |
|                            | 国産牛肉  |       | やや高値   |

平成28年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

| 品目     |      | 価格見通し | 需給動向   |
|--------|------|-------|--|
| そ<br>の | 鶏卵   | やや安値  | 消費動向は堅調であるが、ヒナ餌付羽数が前年を上回っており増産が予想されるため、年末年始の相場は前年を下回って推移するものと見込まれる。  |
|        | ラーメン |       | 市況は軟化基調。   |
|        | 小麦粉  |       | 小麦の国際相場が潤沢な在庫見込みを背景に軟調に推移し、政府の小麦売渡価格が昨年10月以降引下げられ、小麦粉価格は前年を下回って推移している。国産小麦も輸入小麦の価格の値下げが影響し、やや安値となる見込み。                                 |
| 他<br>食 | もち米  | 前年並み  | 大手需要者に対して、契約栽培による価格の安定化の取り組みを行っていること等により、末端価格は前年並みが見込まれる。  |
|        | パン   |       | 小麦粉価格が引下げとなった一方で、労働需給のひっ迫による人件費の上昇もあり、厳しい経営環境が続き、前年並みの見込み。   |
| 料<br>品 | 生そば  | やや高値  | 原料、諸掛は高値状態だが、末端競合要因により価格は前年並みからやや高値。   |
|        | そば粉  |       | 道産そば粉は不作により原料不足。   |
|        | 黒豆   | 高値    | 作付面積については、前年に比べ1割程度増加したものの、本年の作柄は天候要因により収量は平年以下、また品位も皮切れ等の少ない製品の供給が少なくなる見込み。前年産の繰越在庫も無く、消費もやや増加傾向にあることから、供給はタイトになり、価格は高値で推移することが見込まれる。 |



平成28年度 年末年始における生活関連商品の需給・価格見通し

| 品目               |           | 価格見通し | 需給動向   |
|------------------|-----------|-------|--|
| 石<br>油<br>製<br>品 | プロパンガス    | 前年並み  | OPEC（石油輸出国機構）総会で減産が合意されたため、今後先の見えない状況にあるが、現時点では前年並みで推移すると思われる。<br>供給量は確保されている。   |
|                  | 灯油        | 高値    | OPEC（石油輸出国機構）の減産合意を受けて、原油の上昇と円安に向かい、当分は価格上昇に向かうと考えられ、現価格（11月末：OPEC減産合意前）より20%程度の範囲内になることが予想される。<br>全国的な冷え込みがあり、需要の旺盛により製品在庫が例年の7割となっているが徐々に解消へと向かっている。 |
|                  | レギュラーガソリン |       | OPEC（石油輸出国機構）の減産合意を受けて、原油の上昇と円安に向かい、当分は価格上昇に向かうと考えられ、現価格（11月末：OPEC減産合意前）より20%程度の範囲内になることが予想される。<br>例年並みの在庫で推移しているので供給面では問題ない。                          |
|                  | 軽油        |       | OPEC（石油輸出国機構）の減産合意を受けて、原油の上昇と円安に向かい、当分は価格上昇に向かうと考えられ、現価格（11月末：OPEC減産合意前）より20%程度の範囲内になることが予想される。<br>例年並みの在庫で推移しているので供給面では問題ない。                          |